

令和7年度 第3回苫小牧市消費生活審議会開催結果（会議録）

開催日時 令和8年2月9日（月） 午後2時00分～2時45分

開催場所 苫小牧市民活動センター 3階講習室

出席者 【委員】

福本達也委員、千葉武徳委員、今野佑亮委員、長山愛一郎委員、田中一夫委員、榎本郁子委員、山内幸子委員、坪田比斗美委員（8名出席、4名欠席）

【市・事務局】

辻川市民生活部次長、畑島市民生活課長、疋田市民生活課副主幹、増岡市民生活課主査

《会議概要》

1 開 会

2 部次長挨拶

3 議 題

- (1) 令和7年度 消費者教育推進に係る取組経過について
- (2) 第2次苫小牧市消費者教育推進計画の取組状況について
- (3) 今後の消費者教育推進に係る主な取組について
- (4) 生活必需品等の価格動向調査における調査品目の変更について

4 その他

5 閉 会

3 議題（要旨）

(1) 令和7年度 消費者教育推進に係る取組経過について

資料により、事務局から説明を行った。

(2) 第2次苫小牧市消費者教育推進計画の取組状況について

資料により、事務局から説明を行った。

(3) 今後の消費者教育推進に係る主な取組について

資料により、事務局から説明を行った。

(4) 生活必需品等の価格動向調査における調査品目の変更について

資料により、事務局から説明を行った。

(福本会長)

坪田委員は、消費経済調査員として価格調査をされていると聞きました。

(坪田委員)

昨今の物価高騰の影響で、値段は据置きでも内容量が少なくなったなど感じるのと、ほかにもいろいろなものが値上がりしているという実感があります。

(榎本委員)

今回規格を変更するのが3品目ということですが、買い物に行くと今までと同じ金額でも量が減ってるというのはほかにもたくさんあると実感しています。

(坪田委員)

私、先ほどまで仕事をしていたのですが、ある方が給料は上がらないのにスーパーに行くと言物の値段だけ上がっていくという話をしていました。

(榎本委員)

幼稚園や小学校で行っている講座は、大人だけではなくこれからの未来を担う子供たちを対象にしており、とても大事な取組だと思しますので、これからも続けていただきたいと思います。

(福本会長)

価格動向調査の結果は、何らかの対策に結び付けているのでしょうか。

(事務局 辻川次長)

我々自身で価格動向を調整するという事は難しいので、できることとしては、市場の動向を調査して状況をお知らせすることで、市民に物価比較の基準や物価上昇などの社会情勢に思いを巡らせていただくための情報を提供していくことになります。

(福本会長)

バスツアーは、いつ募集しているかわからないうちに終わっている感じがしますが、何を見たら良いということがありますか。

(事務局 疋田副主幹)

実施月の2か月ほど前にホームページや広報等で周知していますが、SNSなど何かほかにも方法がないか検討してみます。

(山内委員)

バスツアーについては、私たち消費者協会が発行している消費者協会だよりでも広報しています。各コミセンなど公共施設にも設置していますので、ご覧いただければと思います。

4 その他

資料により、事務局から「生活応援型プレミアム付商品券」及び「生活必需品等価格動向調査における平均価格の推移」について説明を行った。

(福本会長)

以前にも商品券があって、どのように買ってどのように使ったら良いかわからなかった記憶がありますが、今回も同じような感じでしょうか。

(事務局 足田副主幹)

基本的には同じで、まずこちらから申請書を送りますので記入の上申請し、続いて送る引換券を金融機関に持参して商品券を購入する流れとなります。

(坪田委員)

私たち世代からすると、電子マネーの方が使い勝手が良いと思います。商品券は公平性がないような気がします。当初政府が言っていた現金給付の方が良かったのかと。

(事務局 辻川次長)

今回、物価高騰対策として本市が想定したのが、配布した現金を貯金等に回すのではなく、できるだけ地元で使っていただきたいということです。購入金額 5,000 円に更に 5,000 円を上乗せして、10,000 円分の効果を生み出そうという、物価高騰対策と地域経済対策を同時に行うような施策としたものです。

(坪田委員)

ニュースを見ていると、千歳（市民応援商品券）や室蘭（デジタル商品券）がいいなと思っていました。

(事務局 辻川次長)

国から降りてきた物価高騰対策のお金は、プレミアム付商品券だけでなく、非課税世帯への支援ですとか、上下水道料金の減免など、いろいろな形で家庭に届けるようにしています。商品券は、それら複合的な対策のうちの一つということになります。

(福本会長)

先ほど申し上げたような、商品券をどのように買ってどこで使ったら良いかというのがわかりづらい点はどうでしょう。

(事務局 辻川次長)

以前は、こちらからお送りする引換券に店舗一覧を同封したり、ホームページを見てくださいとされていたのですが、今回は、引換券にQRコードを掲載しますので、読み取ればすぐにわかり、リアルタイムで店舗の情報も更新されていくことになります。

(坪田委員)

イオンなどで、ご高齢の方を対象に商品券のためのスマホ使い方講座をやってみても良いのではないかと思います。

(事務局 辻川次長)

そこは丁寧に対応しなければいけないと思っていますので、参考にさせていただきます。

(福本会長)

ほかに事務局からありませんか。

(事務局 疋田副主幹)

次回の消費生活審議会は、本年6月頃の開催を予定しております。また、令和8年度におきましては、年間2回の審議会開催を予定しております。